

# 緑のボランティア通信

2025.10.1 No.100

## 令和7年度「緑の活動団体」交流会

**日時** 令和7年12月14日(日) 12:00～15:00

**会場** 多摩市民館 大会議室 (JR南武線登戸駅から徒歩10分)

**内容** 講演会、団体パネル、団体ブース、風ぐるま作り、相談コーナー、記念品、その他  
※参加費無料、申込不要。どなたでも直接会場にお越しください。

### 講演会「川崎の行楽地と緑地」13:00～14:00

講師 鈴木勇一郎 川崎市市民ミュージアム学芸員



川崎の公園・緑地の歴史は大師公園から始まります。「厄除けの大師様」として親しまれる川崎大師平間寺の参拝者向けのお休み処として大師公園は開園し、そしてその後も川崎市では多くの公園・緑地が整備され生まれていきました。

今回の交流会では、そんな川崎の公園・緑地の歴史からみなさんのボランティア活動場所を再発見する講演を開催します。

#### 鈴木勇一郎プロフィール

1972年、和歌山県生まれ。青山学院大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(歴史学)専攻は日本近代史、近代都市史。現在、川崎市市民ミュージアム学芸員。主な著書に「おみやげと鉄道」(講談社)「国鉄史」(講談社)など。鉄道や川崎の近代史についての講演会も多数。



川崎市多摩市民館 (川崎市多摩区登戸 1775-1)  
アクセス: JR南武線登戸駅から徒歩10分  
小田急線向ヶ丘遊園駅北口から徒歩5分

#### 目次

令和7年度「緑の活動団体」交流会	1
開催のお知らせ/開催報告(6月～8月)	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
いそろう植物のヒトリゴト	4

# 開催のお知らせ

## ◆冬と春を楽しむ寄せ植え講習会

玄関やお庭を飾るステキな寄せ植えを作りませんか。寄せ植えの基本から学べる講習会を開催します。ビギナーからステップアップしたい方まで、どなたでもご応募ください。

- **日時** 11月20日(木) **午前の部**：10時30分～12時30分  
**午後の部**：14時00分～16時00分
- **会場** 川崎市総合自治会館ホール(武蔵小杉駅下車 徒歩2分)
- **講師** 山口 吾子先生(ことみどり代表)
- **参加費** 2,000円(当日会場受付にてお支払いください)
- **定員** 午前の部25名、午後の部25名(応募多数の場合は抽選)
- **申込み** 協会HP申し込みフォームまたは、「はがき」にて、住所、名前、電話番号、希望の部(午前 OR 午後)を明記し、川崎市公園緑地協会「寄せ植え講習会」係宛に送付してください。 ※11月5日(火)の消印有効  
※応募者には必ず参加の可否についてメール・郵送等で連絡します。

申込フォーム



## ◆こども黄緑クラブ

**【こども編】 10時～12時**

開催日	主な内容	会場	対象	講師
11月16日(日)	樹木博士になろう	夢見ヶ崎動物公園 (幸区南加瀬)	小中学生(保護者同伴) 10組20名程度	樹木医 清田陽助さん
12月20日(土)	葛の退治とリース作り	万福寺檜山公園 (麻生区万福寺)	幼児(3才以上)から 小学生(保護者同伴) 10組20名程度	当協会職員

**【おとな編】 10時～12時**

開催日	主な内容	会場	対象	講師
12月18日(木)	葛の退治とリース作り	万福寺檜山公園 (麻生区万福寺)	大人(18才以上) (幼児同伴可)10名程度	当協会職員

# 開催報告(6月～8月)

## 里山ボランティア育成講座「かわさきの森づくり」

6月は白山北緑地(麻生区)で除伐、7月は菅馬場谷特別緑地(多摩区)でシノ竹刈りと寺尾台団地集会所(多摩区)で講義編を、8月は古沢都古緑地(麻生区)で竹の伐採を行いました。



## こども黄緑クラブ

6月「生き物観察(対象：幼児から小学生)」プロナチュラリスト佐々木洋先生と久地特別緑地で、また「水辺の生き物2(対象：小中学生)」は講師の石綿進一先生と多摩川で開催しました。

7月、8月「セミのぬけがら調査&標本づくり(対象：小中学生)」「夜の生き物観察会&セミのぬけがら調査(幼児から小学生)」は等々力緑地で開催しました。なお、夜の生き物観察会ではプロナチュラリスト佐々木洋先生に解説をいただきました。



6月「生き物観察」

6月「水辺の生き物2」

7月、8月「セミのぬけがら調査 & 標本づくり」

8月「夜の生き物観察会 & セミのぬけがら調査」

## 花とイチョウくらぶ (2019年設立)

**活動場所** 初山第2公園 (宮前区初山2丁目16)

**交通案内** 川崎市市営・東急バス「犬蔵小学校前」バス停より徒歩約5分



平成22年公園愛護会から管理運営協議会に移行しました。当初花壇はありませんでしたが、公園の法面に車を乗り上げられる事が多くなり、その対策のための足場板の隙間に花を植えたところ、通る人達に「きれいですね。」と褒められようになりました。そのことをきっかけ



に「緑の活動団体」に登録することになりましたが、花壇の設置許可がなかったため、道路公園センターと相談の上、法面は元に戻し公園内4ヶ所に花壇を造る事となり、現在に至っています。



令和元年に登録以降、管理運営協議会の女性メンバーが中心となって活動を続けています。協議会としての清掃・剪定・除草はもちろん、季節ごとの花の植替えや法面の美化にも務めています。昨年度は、全国都市緑化かわさきフェアに伴い、道路公園センターから市内の小中学生が育てた花苗を頂き、「花づくり花かざり」のプレートと共に花壇を彩りました。活動していて大変なことは、暑さが続く夏場の水やりは、雨が降らない限り毎日ですし、団体名になっているイチョウの落葉清掃は、10月末から12月まで毎日のようにやっていることです。それでも年度総会を開催する時は、活動結果や今後の予定などを昼食を取りながら、みんなで話し合い親睦を深めています。

(櫻田 吉信)

## 百合ヶ丘南ガーデンハウス ガーデニングサークル (2023年設立)

**活動場所** 「百合ヶ丘南ガーデンハウス」マンション敷地内 (麻生区高石6丁目)

**交通案内** 小田急小田原線「百合ヶ丘駅」より徒歩約18分



私たちの活動場所は、会員が居住する集合住宅の公道に面した約1,000㎡の自然緑地の竹林と周囲の公園緑地です。大ケヤキ、コナラ、ヤマザクラ、竹等が育っています。高木管理はプロに任せ、会員は草刈り、落ち葉清掃、雑木伐採などの緑地保全をメインに行っています。集合活動は月1回ですが、間に合わない時や、急ぎの時は分担しながら作業し、その内容をメールで共有しています。竹林では、4月に新しい竹の処理をした際に出た竹の子をみんなで分けています。掘り残して成長した竹は冬に伐採し、押切機で裁断化して廃棄しています。公道隣接エリアには宿根草を植え、道行く方に季節の花を楽しんでいただきたくて



みんなで作業をしています。

以前は活動場所に散水栓が少なく、低木が枯れたり、開花しないことがあったため、今は100m程離れた散水栓からホースを分岐・延長して散水できるようにしました。水場も確保できたので、今後は麻生区の花であるユリをはじめ季節の球根を植えて、ガーデニングサークルらしい活動を増やしていきたいと思っています。

(金指 元仁)



# いそろう植物のヒトリゴト

知らず知らずのうちに花壇に入ってくる、いそろう植物たち。  
本コラムでは植物の特徴をふまえながら、彼らの「独り言」に耳を傾けていきたいと思います。

午後3時?  
おやつ時間!  
そろそろ  
目覚めようかな〜!

## 21 「ハゼラン」

(ハゼラン科・ハゼラン属)

*Talinum paniculatum*

ハゼランは、夏から秋にかけて直径5mm程度の小さなピンク色の花を咲かせる多年草である。別名「三時草」「三時花」とも呼ばれ、午後3時頃に花が開き始める性質をもつ。ただし、実際に見てみると午後2時頃から夕方にかけて咲いていることが多い。因みに、ハゼランの和名の由来は、秋になると実が小さな粒状に熟し、はじけるように種子を飛ばすことにちなんで「爆蘭」とされたと言われている。明治時代にアメリカから観賞用として導入されたが、その繁殖力の強さから日本の各地の道端や空き地等で野生化している。

昼でも花を  
咲かせている僕って、  
アサガオより魅力的だと  
思わない?

## 22 「コヒルガオ」

(ヒルガオ科・ヒルガオ属)

*Calystegia hederacea*

コヒルガオは、つる性の多年草で、北海道から九州の野原や道端、河川敷などに成育する在来種である。ヒルガオの名は「昼の顔」を意味し、朝から夕方にかけて咲き続けることによるもので、奈良時代に中国からアサガオが伝来した際、昼前に花を閉じるアサガオと比較して呼ばれるようになったと言われている。コヒルガオの名前はヒルガオより全体が小型であることに由来する。自家不和合性のため、結実することは少ないが、地下茎を伸ばして繁殖するため、庭や花壇では、駆除が難しい雑草として扱われることも多い。

ペンネーム: きよすけ  
(造園家・植物研究家)

植えてもいないのに生えてくる道ばたの小さな雑草たち。「雑草」とひとくくりに使われていますが、そんな“いそろう”たちにも一つ一つに名前と生態があります。このコーナーではそんな植物たちをご紹介します。新しく始まったこのコーナーのご意見、ご要望をお寄せください。参考にさせていただきます。

発行・編集

(公財)川崎市公園緑地協会 緑の推進支援係

〒211-0052 川崎市中原区等々力 3-12  
電話 044(711)6631 FAX 044(722)8410  
<https://www.kawasaki-green.or.jp>